



GI

プレミアム

REPORT

スピードクイーン メモリアル

第1回

2/19~24 ボートレース浜名湖

1周2マーク



ガッツポーズ



栄えある初代スピードクイーンは 平高奈菜 久々SGの権利も手に入れた

今年から新設された女子のPG I「スピードクイーンメモリアル」。栄えある第1回大会は浜名湖を舞台にして行われ、初代スピードクイーンには平高奈菜が輝き、20年のクイーンズクライマックス以来、自身2度目のGI優勝を飾った。

浜名湖のモーターは昨年4月16日が初降ろしでたっぷり10か月使用。前検日の抽選では山本梨菜が超抜モーターを引いた他、中谷朋子、寺田千恵らも優良機をゲットした。そんな中、平高が引いたのは16号機。2連対率は前検時点で37%あったものの、前評判は決し

て高くなく、センター枠2走で1着、2着の好発進を切った初日も、コメントは冴えず。だが、3日目にキャブを触ったことで少しずつ出足に特長が出だし、これが大きなきっかけとなった。そこまでオイル3連対をキープしていたことで得点率は上位に。そして4日目。残っていた内枠2走を連勝で締め、予選1位通過を果たした。迎えた準優三番勝負。まず10Rは2号艇の西橋奈未と3号艇の武井莉里佳がともに握り、ぽっかり空いた展開を山川美由紀がまくり差して進出。イン先マイした川野は2着だった。

準優10R

着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	⑤		山川美由紀	5	15
2	①	◎	川野 芽唯	1	20
3	④	×	清水 沙樹	4	21
4	⑥		上田 紗奈	6	22
5	②	○	西橋 奈未	2	22
6	③	△	武井莉里佳	3	22
2連単 ⑤-①			5510円 18番人気 まくり差し		
3連単 ⑤-①-④			29630円 69番人気		

準優11R

着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	川井 萌	1	07
2	②	×	岩崎 芳美	2	09
3	⑥		遠藤 エミ	6	15
4	③	○	實森 美祐	3	14
5	⑤		三浦 永理	5	12
6	④	△	平山 智加	4	12
2連単 ①-②			490円 2番人気 逃げ		
3連単 ①-②-⑥			2790円 9番人気		

準優12R

着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	平高 奈菜	1	04
2	⑤		海野ゆかり	5	09
3	⑥		小芦るり華	6	25
4	②	△	清水 愛海	2	02
5	③	○	山口真喜子	3	03
F	④	×	田口 節子	4	+01
2連単 ①-⑤			820円 3番人気 逃げ		
3連単 ①-⑤-⑥			2460円 9番人気		

優勝戦メンバー

予想	艇番	選手名	F・L	モーター		今回成績					
						1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
一般	本誌			出	行	伸	コース・スタートタイミング				
◎	◎	① 平高 奈菜		◎	◎	○	①② 三13四14	② 四21	③ 六18	①① 二12-12	① -04
○	○	② 川井 萌		○	○	○	① -18	② 五34	④① 六21三06	② 四28	① -07
△	×	③ 山川美由紀	F	◎	○	○	③ 五09	②① 三14-09	① 二20	⑤⑥ 四15六17	① 五15
×	△	④ 川野 芽唯		◎	◎	○	③② 五14三13	① 四08	④③ 二05六13	① -12	② -20
		⑤ 岩崎 芳美		◎	◎	○	⑤ 六15	①③ -15五11	② 四07	② 二08	② 二09
		⑥ 海野ゆかり		○	○	○	⑤ 四16	②① 五12-20	④ 六14	①④ 二16三24	② 五09

展示速報での採点

12R

- 1 平高奈菜 ☆☆☆☆
- 2 川井 萌 ☆☆☆★
- 3 山川美由紀 ☆☆☆
- 4 川野芽唯 ☆☆☆☆★
- 5 岩崎芳美 ☆☆☆☆
- 6 海野ゆかり ☆☆☆

*当日の携帯・スマホカメラで配信したものです

優勝戦結果

着順	艇番	予想	選手名	タイム	進入	ST
1	①	◎	平高 奈菜	1.54.1	1	09
2	③	×	山川美由紀	1.56.2	3	13
3	④	△	川野 芽唯	1.58.9	4	09
4	⑤		岩崎 芳美	2.00.5	5	08
5	⑥		海野ゆかり		6	09
転	②	○	川井 萌		2	18
2連単 ①-③			510円 3番人気 逃げ			
3連単 ①-③-④			1260円 4番人気			

11Rは地元川井萌が全速逃げで外完封。2コースから差しした岩崎芳美が続いた。

12Rは波乱となった。それまで2〜3mだった風が一転、5mまで強くなり、その影響もあってか4コースの田口節子はまさかのF。「(スタートは)しびれた」と話した平高はコンマ04で逃げてポールポジションを獲得。2着は最内を突いた海野ゆかりとなった。

優勝戦はスタンド側から吹く強い横風に水面も荒れ気味だったが、平高は2コースからまくってきた川井に動じることなく1Mを先取。バックでは独走態勢に持ち込んで優勝を決めた。

20年に当地で行われたクイーンズクライマックスを逃げて勝ち、初のGIタイトルを手にしたが、その後の2年は1号艇にはなったものの勝ち切れず。それだけに「1回目、2回目も悔しいけどメンタル的なものもありました。ただ3



回目はさすがに鉄の女でも立ち直れる自信はなかったですね。今日だけは本当に取り戻した」と負けていればレーサー人生のターニングポイントになったかもしれないレースを見事に制してみせた。

まだ今年も始まったばかりとはいえ、賞金的にもだいぶ楽になり、SGの権利が取れたのも大きい。「本調子に戻ってる感じはない。もう少しターニングをビビらさずうまく回りたい。年末はあまり気にせず、優勝回数を増やして行きたいですね」と大舞台に戻った時のことを考え、さらなる実力アップを誓った。

我らかく戦えり—

山川美由紀(2着)

仕上がりは良かったと思います。乗り心地が良かったです。スタートもいいが行けました。

川野芽唯(3着)

リングを換えて足の状態は悪くなかった。1マーク失敗だったと思う。うまく旋回ができなかった。平高選手おめでとうございます。私も頑張ります。

岩崎芳美(4着)

精いっぱい頑張りました。Sもターンも全速。やっぱりこういう大きい舞台はいいよね。(推薦してくれた) 鳴門の施行者さんに感謝です。

海野ゆかり(5着)

回り過ぎでしたね。波も立っていたし、とにかく回り過ぎだった。(この大会は)楽しかったですね。

川井萌(転覆)

1マークは握って行くと決めていた。風がやんでいたのに、スタートが行けなかった。(転覆して)買ってくれたお客さんに申し訳ない。すいませんでした。

今回のスピードクイーンメモリアル。レース映像にタイム表示が出ていたのが気になったファンも多いはず。もちろん「スピード」を題材にしたレースなので当然と言えば当然だが、実はその日の最速タイムをマークした選手には「デイルリースピードクイーン」として副賞「うなぎのかば焼き」が贈呈され、2日目12Rに節間最速タイムを叩き出した川野芽唯には賞金10万円が上乘せされるなど、普段のSGやPGIとは一味違った趣向が凝らされていた。

川井萌



また、戦前は若手レーサーが有利なのでは? とも思われていたが、優勝戦メンバーには50歳以上のベテランが3人勝ち上がった。特設サイトには「スピード巧者」旋回力と整備力を兼ね備えた女子レーサーが集結」とあり、単純なターンスピードだけでなく、モーターの性能を引き出せる実力者が真のスピードクイーンだったとも言える。

ただ、戦前は若手レーサーが有利なのでは? とも思われていたが、優勝戦メンバーには50歳以上のベテランが3人勝ち上がった。特設サイトには「スピード巧者」旋回力と整備力を兼ね備えた女子レーサーが集結」とあり、単純なターンスピードだけでなく、モーターの性能を引き出せる実力者が真のスピードクイーンだったとも言える。

ターンの連続で山川美由紀に詰め寄った川井萌はすごかった。結果的には2周2Mで転覆してしまっただが、浜名湖では8月にもレディースチャンピオンが行われる。川井は「その時は頑張ります」と話している、リベンジを楽しみにしたい。売り上げ面について触れてみると、目標金額100億円に対して節間の売り上げは9億5701万5400円とわずかに下回った。だが、節間4人のFが出たことや昨今の経済環境を考えれば、まずまずの成果で終わったのではないだろうか。

節間最速タイムは川野芽唯がマーク 地元の川井萌は最後まで全力を出し尽くした

緊張しすぎて頭が真っ白に 優勝した実感があんまりなかったですね

— 今の率直なお気持ち。 —
ホッとしています。

— 1マークは川井選手が2コーンから外を回って来た。 —
来たのは後から気付きました。風が強かったのでターンマークだけ漏らさないようにと思っていました。

— 優勝戦の仕上がりは? —
悪くはなかったけど優勝戦メンバーに入ると(機力は)近いなと思っただけと余裕がなかったですね。試運転ではすごい仕上がっていたんですけど、優勝戦は悪くはないけど...って感じでした。

— ゴールを駆け抜けた瞬間は? —
緊張しすぎて頭が真っ白で優勝した実感があんまりなかったですね。

— ウイニングランは? —
タオルをいっぱいお客さんが振ってくれてうれしかったです。ガツカリさせなくて良かったです。

— スピードクイーンメモリアル初代女王となった。 —
めちゃめちゃ上がりタイムが遅いタイプなんです。私、コケるんですけどタイムアタックできないんですよ。それで舟券をダメにするくらいやったら好条件の時しかやらない。今節も風が強かったから大事に回ってました。けど、初代ですごくいですよね。なんか変な気持ちなんです。でも弟子にいいところを



見せられてなかったし、ちょっと弟子が付いて行こうと思えるようなところを見せられたのは良かったと思います。

— 20年にクイーンズクライマックスを優勝した時はコロナ禍で無観客レースだった。 —
前はコロナでお客さんがいなくてチョーさみしかったですけど、今日はすごく良かった。泣けるかなと思ったら泣けなかったけど(笑)。

— 浜名湖で2度目のGI制覇。 —
いつもは苦手でイヤイヤ来てたんですけど、今回はそんな雰囲気を感じなくて、ツイてる気がしてました。本当にポンポンって。エンジンも大した仕上がりではなかったけど、乗っかってみようと思っただけで乗っかってました。

— 8月のレディースチャンピオンも再び浜名湖。 —
ねええ! 夏場は苦手なんで遠慮しときます(笑)



① 準優では高配当を提供した山川美由紀 ② 初戦以外はオール3連対と存在感が光った岩崎芳美 ③ 川野芽唯は2日目に1分47秒3をマークし節間最速タイムを出した ④ 海野ゆかりは良機を引き当て今年初優出だった



GI初勝利を挙げた⑤神里琴音 ⑥武井莉里佳 ⑦山本梨菜 ⑧富樫麗加 ⑨蜂須瑞生 ⑩戸敷晃美 ⑪山下夏鈴